平成２３年１１月１０日

各　　位

会 社 名　藤倉ゴム工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　　中　　光好
（コード番号5121 東証第1 部）
問合せ先　取締役管理本部長　　森田　健司
（TEL 03－3527－8111）

（訂正）「平成２４年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正に関するお知らせ

本日平成２３年１１月１０日に開示いたしました「平成２４年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の記載内容において、一部誤りがありましたので下記の通り訂正いたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示してあります。

記

１．訂正箇所

「平成２４年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報」の「（１）連結経営成績に関する定性的情報」

２．訂正内容

【訂正前】

（前文省略）

② 引布加工品

引布部門は、震災による得意先メーカーの減産の影響が続き、前年に比べ減収減益となりました。印刷材料部門は、国内の新聞市場では変化がなかったものの、海外市場では円高の影響により、前年に比べ減収減益となりました。加工品部門は、海外の救命いかだの売上は好調だったものの、国内での売上が伸び悩んだため、前年に比べ減収減益となりました。

この結果、売上高は21億７千１百万円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益は９千１百万円（前年同四半期は営業利益１億３千４百万円）となりました。

③ スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、買い替え需要の低迷に加え、円高の影響を受け前年に比べ減収減益となりました。アウトドア用品部門は、登山ブームの影響、及び新商品の投入により新しい顧客層を開拓したことにより、シューズ関連商品の売上が好調だったため、前年に比べ増収増益となりました。

この結果、売上高は28億３千５百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業損失は２億５千１百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

【訂正後】

（前文省略）

② 引布加工品

引布部門は、震災による得意先メーカーの減産の影響が続き、前年に比べ減収減益となりました。印刷材料部門は、国内の新聞市場では変化がなかったものの、海外市場では円高の影響により、前年に比べ減収減益となりました。加工品部門は、海外の救命いかだの売上は好調だったものの、国内での売上が伸び悩んだため、前年に比べ減収減益となりました。

この結果、売上高は 21 億７千１百万円（前年同四半期比 8.2%減）、**営業損失**は９千１百万円（前年同四半期は営業利益１億３千４百万円）となりました。

③ スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、買い替え需要の低迷に加え、円高の影響を受け前年に比べ減収減益となりました。アウトドア用品部門は、登山ブームの影響、及び新商品の投入により新しい顧客層を開拓したことにより、シューズ関連商品の売上が好調だったため、前年に比べ増収増益となりました。

この結果、売上高は 28 億３千５百万円（前年同四半期比 1.3%減）、**営業利益**は２億５千１百万円（前年同四半期比 9.5%減）となりました。

以上